# ⑫公開特許公報(A)

昭63-7674

@Int Cl.4 H 01 L 33/00 識別記号

庁内整理番号 M-6819-5F

❸公開 昭和63年(1988)1月13日

発明の数 1 (全3頁) 審査請求 未請求

の発明の名称 発光ダイオード

> 頤 昭61-151959 ②特

②出 願 昭61(1986)6月27日

兵庫県伊丹市瑞原4丁目1番地 三菱電機株式会社エル

エス・アイ研究所内

三菱電機株式会社 の出 願 人

東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

弁理士 大岩 増雄 外2名 20代 理 人

1. 発明の名称

発光ダイオード 🐪

### 2. 特許額求の新用

光の出射端面に集光用レンズを備えた発光ダイ オードにおいて、前記集光用レンメ直下の前記出 射端面より活性層近傍まで達する領域の屈折率を その周囲よりも高くしたことを特徴とする発光グ

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

ての発明は、光通信用として使用される信号伝 遠効率を向上させた発光ダイオードに関するもの である。

〔従来の技術〕

第2図は従来の発光ダイオードの一例を示す構 造図である。

ての図において、1はn形InP 基板、2はn 形 I n P パッファ 層 、 3 ぱ I n G a A s P 活性層 (λ g = 1 . 3 μ m )、 4 は p 形 I n P クラッド 層、 5 は

InGaAsP:コペンタクト層(λg=1.1μm)、 6はSiOz絶緑膜、7はp側電板、8はn侧電極、 9は集光用レンズ、10は前記集光用レンズ9を 固定するための樹脂、12は光を伝送するファイ パである。

この発光ダイオードは、 p 側電極7と n 側電極; 8との間に順方向電流を流すてとにより、電流が Si0₂粕様膜6が除去されている素子中央部に集 中して流れ、InGaAsP 活性層3で発光が起き る。発生した光は矢印で示すように様々な方向へ 拡がって伝搬していくが、そのうちの一部の光が 築光用レンズ 9 の中央付近に入射し、 與光用レン メ9を介してファイバ12に選する。.

上記のような従来の発光ダイオードでは、集光 用レンス9に入射した光の一部しか情報伝速に使 用できない。例えば、ファイバ12の直径が50

[発明が解決しようとする問題点]

μπの場合にファイバ12に取り込まれる割合は 全発光出力の1%程度であり、大部分の光は信号 伝速に役立たず、信号伝達効率が非常に悪いとい う問題点があった。

ての発明は、かかる問題点を解決するためにな されたもので、信号伝達効率の良い発光ダイオー ドを得ることを目的とする。

[問題点を解決するための手段]

この発明に係る発光ダイオードは、集光用レン ズ直下の出射端面より活性層近傍まで達する領域 の配折率をその周囲よりも高くしたものである。 (作用)

この発明においては、活性層で発生した光の大部分は屈折率の高い領域内を伝搬して出射端面に 到達したのち、集光用レンズに入射する。 (実施例)

第1 図はこの発明の発光ダイオードの一実施例 を示す構造図である。

この図において、第2図と同一符号は同一部分を示し、11は前記 n 形 I n P 基板 1 や n 形 I n P ルッファ 暦2よりも屈折率の高い物質で、集光用レンズ 9 直下の出射端面より I n G a A s P 活性層 3 の近傍まで達する円筒状の薄内に埋め込まれて

この発明は以上説明したとおり、 奉光用レンズ 直下の出射端面より活性層近傍まで達する領域の 屈折率をその周囲よりも高くしたので、 集光用レ ンズまでの信号伝達効率を大幅に改善できるとい う効果がある。

### 4. 図面の簡単な説明

第1 図はこの発明の発光ダイオードの一実施例を示す構造図、第2 図は従来の発光ダイオードの一例を示す構造図である。

図において、1はn形InP基板、2はn形InPパッファ唇、3はInGaAsP活性層、4はp形InPクラッド層、5はInGaAsPコンタクト層、6はSiOs絶線膜、7はp側電極、8はn側電極、9は塩光用レンズ、10は樹脂、11は屈折率の高い物質、12はファイバである。

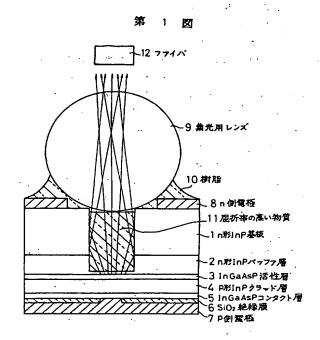
なお、各図中の同一符号は同一または相当部分 を示す。

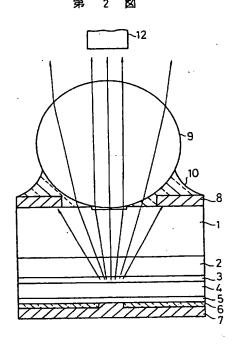
代理人 太 岩 増 雄 (外2名)

いる。

なお、上記実施例ではn形InP 基板1を用いたIn-Ga-As-P 系の発光ダイオードを例にして説明を行ったが、p形InP 基板を使用しても同様な効果が得られるほか、Aℓ-Ga-As系など他の半導体材料を用いた発光ダイオードにもこの発明を適用することができる。

[発明の効果]





## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

63-007674

(43)Date of publication of application: 13.01.1988

(51)Int.CI.

H01L 33/00

(21)Application number: 61-151959

(71)Applicant: MITSUBISHI ELECTRIC CORP

(22)Date of filing:

27.06.1986

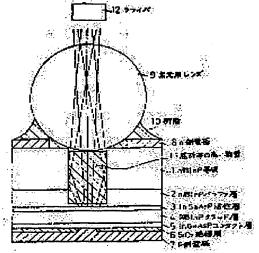
(72)Inventor: KAKIMOTO SHOICHI

### (54) LIGHT EMITTING DIODE

### (57)Abstract:

PURPOSE: To improve the signal transmission efficiency to a focussing lens by a method wherein the refractive index of the region from an outgoing end immediately below the focussing lens reaching the part near an active layer is made higher than that of ambient regions.

CONSTITUTION: A material 11 with higher refrative index than that of an n type InP substrate 1 and an n type buffer layer 2 is buried in a cylindrical recess reaching near an InGaAsP active layer 3 from the outgoing end immediately below a focussing lens 9. A current flowing in the normal direction between a p side electrode 7 and an n side electrode 8 is concentrated in the element removed central part of an SiO2 insulating film 6 to emit light from the part near the central part. However, most of the light is absorbed into the material 11 with higher refractive index to be transmitted to the outgoing end without being externally leaked reaching a filter 12 through the intermediary of the focussing lens 9. Through these procedures, the light is led to the part near the center of focussing lens 9 to improve the signal transmitting efficiency to a great extent.



### **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]